

6月19日  
取次搬入予定

4年ぶりの重版です。『庄野潤三の本 山の上の家』

美しい家。誠実な文章。唯一無二の心暖かな作家の全貌。

庄野潤三（1921～2009）は山の上の一軒家で、家族のことを約50年間にわたって書き続けました。あたたかく誠実な文章とテーマは、多くの読者に愛され、いまでも毎年のように作家の本が復刊されています。本書はその作家の全キャリアを見渡す、初めての庄野潤三のブックガイドです。冒頭32ページにわたって作家が暮らした一軒家をカラーで紹介し、単行本未収録の傑作中編や、随筆、作家のデッサンを収録しています。その他、佐伯一麦、岡崎武志、宇田智子、北條一浩らが、作家論を書いたり、生前に刊行した全67作品の詳らかな紹介をしたりと、全ページにわたって、庄野潤三の仕事丁寧に紹介しています。読後に残るのは、あたたかな気持ち。「陰惨なニュースを聞くたびに、私は『あーあ、庄野潤三を読めばいいのになあ』と思う」岡崎武志さんの気持ちは、ほんとうです。

価格：2200+税 / 240頁（A5版変形 / ハードカバー）

ISBN 978-4-904816-28-8 C0091

取次：JRC（すべての取次からの搬入が可能です）

**ご注文は JRCへ FAX：03-3294-2177**

**電話：03-5283-2230**



庄野潤三の本

山の上の家

発行 夏葉社 ISBN 978-4-904816-28-8 C0091 本体 1100円+税

ご担当者様

冊

貴店番線印